

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台図面講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:32年 大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。				
授業概要					
舞台業界標準となっている図面アプリケーション『Vector works』の利点と操作方法を学ぶ。					
到達目標					
迅速に舞台図面を作成・修正対応できる技術の修得。 企画ライブの舞台図(平面図・立面図・断面図)を3Dで作成出来る技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	PCソフト『Vector works』(2D基本編) ・各自思い思いの絵を描いてツールを使う練習 ・線のひき方 ・テキストの入れ方
【前期】 11～20回目	PCソフト『Vector works』(2D基本編) ・ツールを使用してシンボルを作成 ・縮尺について ・寸法の割り出し
【前期】 21～30回目	PCソフト『Vector works』(2D基本編) ・用紙設定について ・グリッドの設定について ・配列複製について ・原点指示について
【前期】 31～40回目	PCソフト『Vector works』(2D基本編) ・整列・画面登録 ・見本に合わせて仕込み図を作成 ・図面の取り込み・トレース ・課題製作
【後期】 1～8回目	PCソフト『Vector works』(3D応用編) ・シンボル図形のテンプレート化 ・ハイブリッドシンボルの登録 ・文字列、プラグインオブジェクトについて ・グループ図形、ワークシートの作成
【後期】 9～16回目	PCソフト『Vector works』(3D応用編) ・シートレイヤー ・各ホール図面(3D)の作成 ・各シンボルを使用して3D図面の作成
【後期】 17～24回目	PCソフト『Vector works』(3D応用編) ・応用[舞台図面(平面図・正面図・側面図・読み方・書き方)] ・応用[図面から劇場毎の違いを読み取る]
【後期】 25～32回目	PCソフト『Vector works』(3D応用編) ・応用[テーマを元に複数の劇場毎に図面を落とし込む] ・応用[図面からアリーナ・劇場の違いを読み取る]
【後期】 33～42回目	PCソフト『Vector works』(3D応用編) ・応用[テーマを元に複数の劇場・アリーナ毎に図面を落とし込む] ・ツアー(ホール)における図面の描き方 ・ツアー(アリーナ)における図面の描き方
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	支給i-Pad持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

## 専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台進行講座		授業形態 / 必・選	講義		必修
			年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	11単位	
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース					
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>		
担当講師 実務経歴	実務経験: 35年 舞台監督会社を経て、国内アーティストのツアーを手掛けている舞台監督。					
授業概要						
事前準備、念入りな作業等、舞台監督に必要とされる全ての知識の学習。						
到達目標						
舞台監督としての現場での判断力、本番時のスムーズな進行のノウハウの習得。						

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	進行表の作り方 ・各セッションがスムーズに進行できるように全体を考慮した資料作成 ・イベントタイトル
【前期】 11～20回目	進行表の作り方 ・日時 ・内容
【前期】 21～30回目	進行表の作り方 ・会場打合せ ・消防申請
【前期】 31～40回目	進行表の作り方 ・リハーサルまでの進行・準備物 ・ゲネプロの進行・準備物
【後期】 1～8回目	ツアーの動き ・トランスポートへの積み込み ・搬入順番・仕込み作業順
【後期】 9～16回目	ツアーの動き ・バトン昇降時の注意点・音出し時の注意点 ・シュート時の注意点
【後期】 17～24回目	ツアーの動き ・トランスポートへの積み込み ・各導線の確保
【後期】 25～34回目	ツアーの動き ・撤収時の流れ(バラウチ) ・ステージハンドの振り分け～使い方
【後期】 35～44回目	ツアーの動き ・冷静な判断力・決断力を養う ・より多くの現場に参加して「実践」で学習する。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	支給iPad持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台製作実習Ⅱ	授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目	該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経験:32年 大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。			
授業概要				
学内ホールの舞台躯体を使用する実習 トラスの昇降や吊物の各種取扱い方法について学ぶ。				
到達目標				
チームワークを構築するためのコミュニケーション能力の向上。 現場の流れの理解の深めた、現場での対応力の向上。				

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	吊り物 ・基本の吊り方 ・吊り物の仕込み方
【前期】 11～20回目	吊り物 ・ロープ／ワイヤーの結び方
【前期】 21～30回目	トラス関係 ・トラスの組み方 ・ボルトの締め方(ボルト／ワッシャー／ナット／方向)
【前期】 31～40回目	トラス関係 ・スリングの掛け方(チョーク／ブライダル等)
【後期】 1～8回目	鉄骨部材の扱い方-足場組 ・9X9Dr.台の組み方(含む6X9へのアレンジ) ・OC用6X9Dr.台の組み方
【後期】 9～16回目	平台組 ・3X6／3X3／1.5X3での台組アレンジ
【後期】 17～24回目	ライブ実習使用製作物の仮組み ・各会場に合わせた仕込み方
【後期】 25～34回目	バトン操作 ・声がけ
【後期】 35～44回目	バトン操作 ・操作実習(外部ホール)
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好(スニーカー・黒ズボン・黒Tシャツ/トレーナー) 支給i-Pad・必要工具(LEDライト・ビニールテープ・マジック類)クリップボード持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	大道具実習A	授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経験:37年 大道具会社を経て 現在国内アーティストのドームツアーを手掛けている大道具スタッフ			
授業概要				
木工道具・電動工具の扱い方について学ぶ。 危険が伴うので、慌てず急がず反復練習を行う。				
到達目標				
ミリ単位で製作する高度な技術の習得。				

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	基本工具説明、レベル確認
【前期】 11～20回目	木工道具を使用した大道具作成 ・ナグリ ・巻尺 ・糸鋸
【前期】 21～30回目	・釘、タッピングネジ
【前期】 31～40回目	電動工具を使用した大道具作成 ・インパクトドリル ・丸鋸 ・ジグソー
【後期】 1～8回目	・サンダー・ボール盤 ・エアコンプレッサー
【後期】 9～16回目	・リノリウム敷き込みの練習 ・リノテープ(弱粘着ビニールテープ)を使用してのリノリウム貼り
【後期】 17～24回目	・リノリウム巻の練習(10908×1818Size)
【後期】 25～32回目	・9×9山台作成(平台・箱馬使用)
【後期】 33～40回目	・3×6パネル吊り込み
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好(スニーカー・黒ズボン・黒Tシャツ/トレーナー) 支給iPad・必要工具(LEDライト・ビニールテープ・マジック類)クリップボード持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	大道具実習B	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:37年 大道具会社を経て 現在国内アーティストのドームツアーを手掛けている大道具スタッフ				
授業概要					
「企画イベント」の大道具の作成 イベントパネル・小道具・持ち出し道具の作成					
到達目標					
完成度の高い技術力の習得					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	各自「箱馬」の作成
【前期】 11～20回目	クラスで「平台」(3×6Size)の作成
【前期】 21～30回目	企画イベント①の 準備・製作
【前期】 31～40回目	スチールライザーの組み方
【後期】 1～8回目	アルミトラス(300角)を使用したパネルの組込み
【後期】 9～16回目	企画イベント②の 準備・製作
【後期】 17～24回目	吊り看板のセットアップ方法
【後期】 25～32回目	企画イベント③の 準備・製作
【後期】 33～40回目	ホールにて 大黒幕・紗幕・引割幕・ジョーゼット幕の吊り方
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好(スニーカー・黒ズボン・黒Tシャツ/トレーナー) 支給iPad・必要工具(LEDライト・ビニールテープ・マジック類)クリップボード持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台製作実地演習Ⅱ	授業形態 / 必・選	演習	必修
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(36単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 舞台製作コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。			
授業概要				
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。				
到達目標				
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。				

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～6回目	学園祭準備①②
7～8回目	学園祭①②
9回目	学園祭片付け、原状回復
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布